

二の宮小 心の誓い7か条

平成30年2月3日（創立30周年記念式典にて発表）

創立30周年を迎えたことをきっかけとして、二の宮小をさらに「魅力ある学校にするためにどうすればよいか」ということを全児童にアンケート調査を行い、代表委員が中心となって考え出されたのが「心の誓い7か条」です。今後は、この児童の皆さんが考えた「心の誓い7か条」を常に意識して、一人一人の持っている力を思う存分発揮し、さらにすばらしい二の宮小学校を創り出せるよう頑張りましょう。

1 あいさつ 元気にあいさつする心

あいさつは、人との出会いの出発点であり、社会生活をするうえで、なくてはならないものです。元気なあいさつは学校はもちろん社会を明るく元気にします。みんなで元気なあいさつをしましょう。

2 協力 なかよく助け合う心

人の気持ちを理解すること、人を思いやることはとても大切です。人と人が助け合い、力を合わせて協力すれば、一人ではできないことも可能になるのです。

3 規律 きまりを守る心

学校や社会のルールを守ること、人との約束を守ること、さらには他人に迷惑をかけないなどを心がけたいものです。これらは社会で生きていく上では最低限必要なことで、これができなければ人からの信用をなくしてしまいます。

4 感謝 「ありがとう」といえる心

「ありがとう」と言うことで自分も笑顔になれるし、相手の笑顔も引き出せます。「ありがとう」はまさに魔法の言葉で、幸せを自分の元に運んできてくれるのです。「ありがとう」を習慣にすると気持ちがポジティブに変わります。いつでも「ありがとう」を言える人を目指しましょう。

5 素直 「ごめんなさい」といえる心

素直な気持ちと広い心で人に接することが大切です。どんな人の言葉にでもよく耳を傾けること、「ごめんなさい」と言える謙虚な気持ちを忘れないようにしましょう。

6 学び よく学ぶ心

学校生活では学ぶ機会がたくさんあります。授業中に先生の話や友達の発言から学ぶこと。学校行事を経験して学ぶこと。係や当番活動で、友達の行動から学ぶこと。あらゆる機会に良く学び、自分自身を成長させていきましょう。

7 努力 夢に向かって努力する心

夢や目的に向かって努力することは大切です。自分の力を信じて目的実現のために努力を続けていけば、きっと良い結果になるでしょう。